

みはま支援学校

実施日時	平成30年 12月 14日(金)
参加者	生徒22名、教職員20名 計42名
実施内容	西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)による講義及び実技講習、ライフジャケット着用、非常食の試食

事前の取組

「防災学習」年間計画への位置づけ及び事前取組

本校では、避難訓練、避難経路の確認等を定期的に行い、日ごろから防災に関する注意喚起を行っている。6月に地震津波避難訓練として、悪天候の中和歌山病院のピロティへの避難を実施したが、和歌山病院5階屋上まで上がることはできなかった。その際には、教室環境の見直しや危険物の撤去、いざという時に取るべき行動など、それぞれの実態に合った防災についての学習を進めた。また、常備している防災リュック(缶詰2缶・パン1缶・アルファ米・レスキューフーズ1食・水2ℓ等)を背負い、ライフジャケットを持参し、避難した。電車で行っている生徒については、災害時のトラブルの際には、運転手等の指示に従い、連絡できる場合は保護者と学校への連絡を促している。

主なプログラム

- 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)による災害時の対応方法(講義及び実技講習)
講義・・・災害時の電車乗車中の状況・避難方法・避難場所、避難誘導看板の説明等
実技講習・・・避難はしごによる避難体験
- 避難経路の確認(和歌山病院5階屋上)の予定だったが、雨天のためライフジャケットを着用する訓練を実施
- 非常食の試食(レスキューフーズ1食)
- 防災スクールのまとめの実施(ワークシー

トに記入)

参加者感想文

災害で電車が止まった時の避難の仕方やはしごの使い方を知ったり、災害の話を聞いたりして勉強になりました。色んな知らないことを知ることができました。自分の地域で災害が起こっても対応できるように、そしてこの経験を生かしてきちんと避難できるようにがんばりたいです。

はしごの組み立てなど初めてだったので、とても役に立つ話でした。電車の乗車中に大きな地震があっても避難方法を知ることができたので、安心してみんなをフォローして逃げることができると思います。

成果と課題

【成果】

- 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)の皆様を講師に迎えて講義や避難はしごの実技講習を行って頂いた。電車で行っている生徒も多く、電車乗車中に災害が起こった場合の状況や避難方法、避難場所等の話を真剣に聞いていた。本校の生徒にとって、自分の事と考え易く大変効果的であった。
- 避難はしごの実技講習では、実際に舞台を電車に見立て、避難はしごを準備するところから降りるところまで体験することで、興味・関心を持ち主体的に取り組み、意識の向上に繋がった。

【課題】

- どの活動においても体験だけで終わるのではなく、安全に素早く行動できるように訓練を継続させていきたい。
- 地震津波避難訓練として和歌山病院5階屋上への避難を実施する。今後は悪天候、悪状況時の避難についても検討していく。
- 地域や病院と連携した訓練については、本校の実態に合わせて検討・実施することが重要である。

